

## 海運（船舶）利用の概況

### 定期航路利用の概要

(国内)

(単位:千人、千台)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
離島航路	旅客数	3,880	3,743	3,880	3,832	3,987
	車両数	379	361	371	462	422
本土間航路	旅客数	2,260	2,562	3,056	2,817	2,064
	車両数	641	603	627	596	613
計	旅客数	6,140	6,305	6,936	6,648	6,051
	車両数	1,020	964	998	1,058	1,035

注) 平戸、福島、天草の航路を離島航路に含む。

(国際)

(単位:人)

区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
対馬～釜山航路利用者数	375,766	384,364	459,491	580,446	738,217

本県における国内定期航路数は平成30年10月末現在41航路あり、このうち離島定期航路数は31航路である。

定期航路の平成29年度利用状況は、旅客数が6,051千人で対前年度比9.1%減少しており、このうち離島航路は3,987千人で対前年度比3.8%増加した。車両航送台数は1,035千台で対前年度比1.4%減少しており、このうち離島航路は422千台で対前年度比7.1%の減少となった。

本県では、離島地域住民の経済的負担の軽減と交流人口の拡大を目的として「離島地域交流促進基盤強化事業」により、新船建造（船舶リプレイス）の支援を行っている。

※過年度の実施状況

長崎～五島航路	「万葉」	(23年 4月就航)
長崎～五島航路	「椿」	(24年12月就航)
博多～壱岐～対馬航路	「フェリーきずな」	(24年 4月就航)
長崎～五島貨物航路	「フェリーさくらⅡ」	(26年 3月就航)
福江～青方～博多航路	「太古」	(26年 7月就航)

※大規模改修リプレイス事業で実施

長崎～鯛ノ浦航路	「びっぐあーす2号」	(26年 3月就航)
----------	------------	------------

また、国際定期航路が、対馬市の厳原～釜山間、比田勝～釜山間において運航されている。厳原～釜山間においては大亜高速海運の「オーシャンフラワー」、未来高速の「コビー」、スターラインの「ニナ」が運航されており、また比田勝～釜山間においては大亜高速海運の「オーシャンフラワー」、JR九州の「ビートル」、未来高速の「コビー」、スターラインの「ニナ」、韓日高速海運の「オーロラ」が運航されている。平成29年度の利用者数は738,217人で対前年度比27.2%増加しており対馬の地域振興と、韓国との交流人口の拡大に寄与している。

(県新幹線・総合交通対策課)